



# チャレンジ家庭菜園

No. 55

## マコモ（真菰）タケ

平成21年4月23日  
神奈川県農業共済組合

マコモはイネ科の多年草の水生植物です。我が国には古くから自生していて草丈は2～3mになります。一部の地域では水田転作作物として栽培され特産化されています。マコモはお盆になるとマコモで編んだ「盆ごぎ」や「盆舟」が使用されていて、三重県には菰野町という地名があります。

中国で高級食材として用いられ、タケノコに似た食感でほのかな甘みが特長で、低カロリーで植物繊維が豊富なのでダイエットにも適したヘルシーな食材です。

### 1. 苗の購入

ポット苗が一部の種苗会社から販売されています。インターネット等で調べて見て下さい。

### 2. 植付け

タライのように直径が50～60cmで深さ30cmの容器を用意します。この容器に水田の土が手に入れば良いですが、手に入らなければ普通の黒い土（火山灰土）に堆肥を20%程度を混ぜ、元肥として化成肥料をひとつまみを入れて良くまぜておきます。

植付け時期は4～5月頃で容器の深さ3分に2ぐらいに用意した土を入れ、準備した苗を等間隔に3株を植付け、新芽が隠れるまで水を張ります。

### 3. 管理

日当たりの良いところの置き、水が蒸発して少なくなったら足すようにします。雑草が生じたら抜いて下さい。

### 4. 収穫

収穫は9～10月で株元が膨らみ白いマコモタケが見えてきたら順次収穫します。膨らんだ茎を鎌等で切りとります。収穫が遅れますとマコモタケの中に黒い斑点ができます（膨らむ原因は水際の茎にマコモ黒穂病菌（カビ）が寄生して茎の先が肥大したものです）。

1年目は株が小さく、マコモタケができないことがあります。そのまま栽培すれば次年度以降さらに株が大きくなり、収穫ができます。

### 5. 収穫後の管理

多年草なので枯れた茎葉は刈りとり、切り株は残します。冬は休眠するので容器に水を張る必要はありません。但し土が乾燥しないようにし、翌春に新芽が出てきたら水を入れます。株が大きくなりましたら株分けして別の容器に移します。

### 6. その他

黒穂病はムギやトウモロコシに寄生してムギでは穂が黒い胞子の固まりで黒くなった穂（黒穂）がありますが、ムギの栽培面積が少なくなったので黒穂を見ることは少なくなりました。